



### 3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	一般廃棄物を泉南清掃事務組合にて、適正処理することで最終処分量を削減し、循環型社会に取組み、環境保全及び公衆衛生を確保する。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	事業系一般廃棄物の増加によりごみ搬入量が増加傾向であり、それに伴って焼却量も増加しています。資源化量も減少していることから、事業者へのさらなるごみの分別と削減を促進する。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	市民・事業者には、廃棄物の発生抑制と分別排出の徹底を促進し、搬入された廃棄物を適正に処理する。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	一般廃棄物の処理と焼却熱を利用した温水プールの運営を行っている泉南清掃事務組合(泉南市・阪南市の2市で運営)に負担金事業として支出している。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	一般廃棄物を適正に処理するためには継続すべき事業である。

### 4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	A	一般廃棄物を適正に処理することができているが、事業系一般廃棄物が増加傾向であるため、事業者に対して、ごみの分別と発生抑制を周知する。また、粗大ごみの中から手選別によるスクラップ品のリサイクル強化に努め資源化率の向上を図る。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

### 5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	分別徹底は図り、資源ごみへのリチウムイオン電池などの混入防止に努める。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	泉南清掃事務組合(ごみ焼却施設)あり方について検討を行う。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	ごみ焼却施設の老朽化に伴い、ごみ処理広域化を検討する。

### 6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	ごみの搬入と焼却、及び再資源化事業を通じて、ごみ廃棄物の適正処理に向けた取組が適切に行われている。 ごみ焼却施設の老朽化対策については計画的な維持・補修を進めるとともに、広域化も含めた様々な展開の検討を進められたい。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある